

## 第3回 南アルプス市高齢者いきいきプラン策定委員会 議事録要旨

日時：令和5年11月20日（月）19：00～

場所：南アルプス市役所 新館地階 第一会議室

- 議 事：（1）第2回南アルプス市高齢者いきいきプラン策定委員会での意見に対する回答について  
（2）第5章 介護保険事業・地域支援事業の推進について  
（3）第6章 プランの推進にあたって

1. 開会（介護福祉課長）

2. 会長あいさつ（高木会長）

3. 議事

### （1）第2回南アルプス市高齢者いきいきプラン策定委員会での意見に対する回答について

（事務局）

【第2回南アルプス市高齢者いきいきプラン策定委員会での意見に対する回答】

（高木会長）

再度お読みいただき、修正に対するご意見や、見直して疑問に感じた点がございましたら、お願いいたします。ないようですので、（1）についてはご承認いただいたということで、（2）へ移ります。

### （2）第5章 介護保険事業・地域支援事業の推進について

（事務局）

【第5章 介護保険事業・地域支援事業の推進について説明】

（高木会長）

ご意見、ご質問等がありますか。よろしいでしょうか。それでは、（3）へ移ります。

### （3）第6章 プランの推進にあたって

（事務局）

【第6章 プランの推進にあたってについて説明】

（高木会長）

何かご意見、ご感想等があればお願いします。私から一点よろしいでしょうか。例えば、「いきいき百歳体操」について。現状はおよそ1箇所あたり15人となっており、令和8年になると2,000人と85箇所となり、単純計算では1箇所あたり23人というように増加しております。しかし、こちらの数字が最終的な評価に反映できるかという点、反映が難しいかと思っております。こちらの数字が現実的なラインであるかを再度精査していただいてもよいかと思っております。また、「ケアマネジャー研修会の参加人数（累計）」においては200人と記載がありますが、こちらは累計で出すことよりも、参加している人の割合を出すことのほうが、実効性を高めていく時の評価としては適切ではないかと感じます。

ほかにも、「新たに居場所づくりを行った協議体の数」は2箇所と記載がありますが、こちらは毎年2箇所なのか、それとも累計2箇所なのかがわかりません。であれば、分数で表現するほうが毎年の評価が行いやすいですし、ただ2箇所が増えたという記載よりも、全体のうち何箇所が行っているかが見えるほうが納得しやすいと思います。「認知症サポーター養成人数（累計）」についても、毎年100人ずつ増加するような記載がされていますが、例えばターゲットを絞り、高齢者全体に対する受講者数の割合や、社会人全体に対する受講者数の割合などという表現がよいかと思いました。後々評価がしやすいように割合で出していただくほうがわかりやすいですし、毎年定年退職する人の中で、このような講座を受けて地域生活に移行していく人が何割いるのか、などがわかると、さらに実行力が高まるのではないのでしょうか。重点目標4「権利擁護・虐待対応職種別研修会の開催」においても、人数ではなく職員全体に対する割合を求めていただくとよいかと思います。特に人数においては、表現の仕方を再考していただきたく思います。

（委員）

会長からお話がありましたが、例えば現行計画の「いきいき百歳体操」は、令和3年時点では参加者数が1,058人となっており、3年後には1,500人の目標を立てております。しかし、実際の令和5年の参加者数は1,086人です。これまでの3年間でできていない数値が、次の3年間でできるかという不安を感じます。ほかにも何箇所かありますが、現行計画の目標値と次期計画の実績値を見比べた時に、伸び率が著しく多いものや少ないものについては歴然とわかる部分がありますので、そのような箇所は表現を変えた方がよいと思いました。

（高木会長）

ありがとうございます。実際に私たちが目指したいものはあるかと思いますが、一方で、現実的な実績も出ております。特に評価指標については表現の仕方について再考いただき、次回の委員会にてご提示いただきたく思います。ほかにはありますか。ないようであれば（3）についてもご承認いただいたということで、以上で議事を終了いたします。事務局にお返しします。

（事務局）

貴重なご意見、慎重なご協議をいただきましてありがとうございます。特に、主な評価指標についてご意見をいただきました。前回の計画を踏襲している部分もあるかと思いますが、再度中身を精査し、次回の委員会でお示しをさせていただきたく思います。

#### 4. その他

#### 5. 閉会（川窪副会長）

以上